

経営比較分析表（令和2年度決算）

青森県 板柳町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	46.52	55.57	97.56	2,920

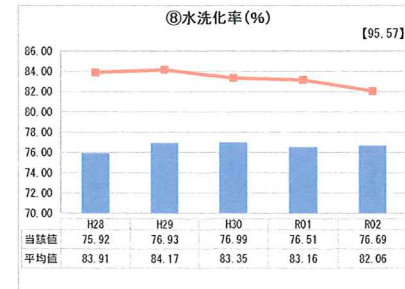
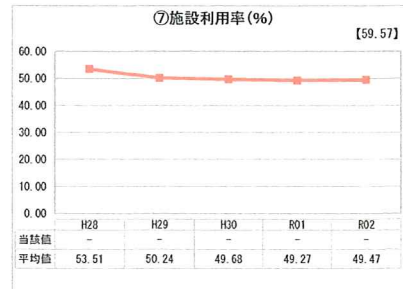
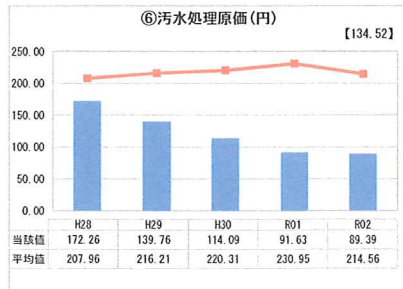
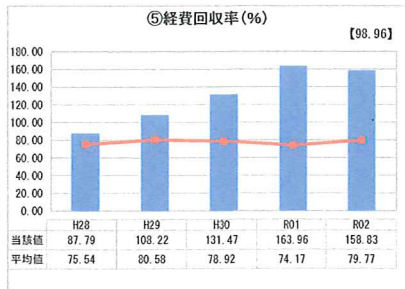
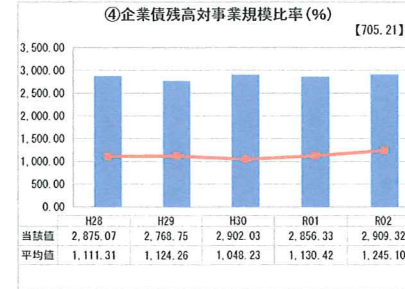
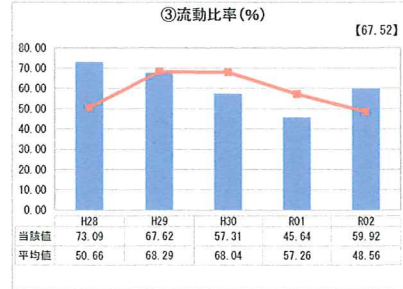
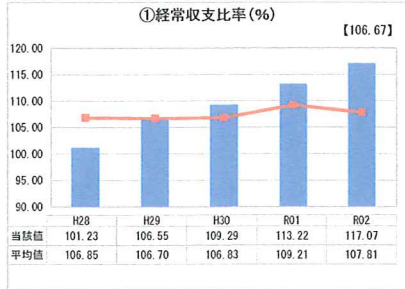
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,211	41.88	315.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,272	3.07	2,368.73

グラフ凡例

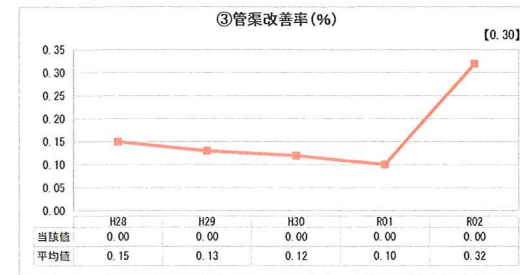
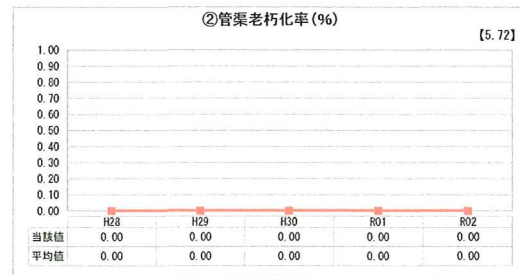
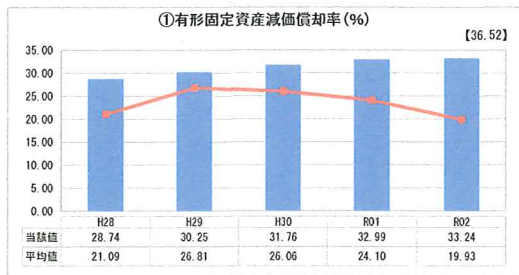
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を上回っており、当該年度においては、雨水処理に係る一般会計からの繰入金が増、企業債支払利息の減により、類似団体と比較しても高い数値となっている。

現在のところ累積欠損金はなく、経営の健全性が図られている。

企業債残高対事業規模比率は、整備開始が平成2年度からと遅かったため、類似団体と比べ高い状況にある。

水洗化率については、過疎化による処理区内人口の減、水洗化人口の減少に伴い、加入率が類似団体と比べ低く状況にある。

将来の経営の健全性を保つためにも、更なる経費回収率の向上、汚水処理原価の低減、並びに水洗化率の向上による、より一層の効率化が求められる。

2. 老朽化の状況について

平成2年度から管渠工事を行っており、耐用年数を超えた管渠は無く、改築はない。

有形固定資産減価償却率は、現在也未普及対策として、管渠整備を実施していることに伴い、類似団体と比べて高い状況にある。

全体総括

現在のところ、経営状況は安定しているが、今後は過疎化等による急激な人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の改築（更新・長寿命化）に伴う費用の増加が見込まれるため、未収金の回収、維持管理費の削減等、事業運営について十分な検討が必要である。

また、令和3年度に長期的な基本計画である経営戦略の改定を実施し、農業集落排水事業の公営企業会計移行時に、公共下水道事業も併せて経費回収率向上に向けたロードマップを作成し、経営の健全化を図るための取組を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。